

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2003-325475(P2003-325475A)

【公開日】平成15年11月18日(2003.11.18)

【出願番号】特願2002-141323(P2002-141323)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 5/055

A 6 1 M 25/00

G 0 1 R 33/28

G 0 1 R 33/34

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 9 0

A 6 1 M 25/00 3 1 2

A 6 1 M 25/00 4 0 5 B

A 6 1 B 5/05 3 5 5

G 0 1 N 24/04 5 2 0 A

G 0 1 N 24/02 Y

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月11日(2005.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カテーテルと、前記カテーテル内に、互いに電気的に非接続状態で且つ相互結合が実質的でない状態で配置された複数のアンテナと、複数のアンテナをそれぞれ別個の信号検出回路に接続する複数の信号線とを備え、前記複数のアンテナはそれぞれ異なる空間からの信号を検出することを特徴とするカテーテルRFアンテナ。

【請求項2】

前記複数のアンテナは、前記カテーテルの長手方向に対しづれた位置に配置されていることを特徴とする請求項1記載のカテーテルRFアンテナ。

【請求項3】

前記複数のアンテナは、前記カテーテルの長手方向のほぼ同一位置にRFシールド部材を介して並列に配置されていることを特徴とする請求項1記載のカテーテルRFアンテナ。

【請求項4】

前記カテーテルは、長手方向に沿って複数の空洞を有するチューブからなり、前記空洞内に前記アンテナ及びそれに接続された信号線が収納されていることを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項記載のカテーテルRFアンテナ。

【請求項5】

前記カテーテルは、長手方向に沿って複数の空洞を有するチューブからなり、前記複数の空洞のうちの1の空洞内に前記複数のアンテナ及びそれに接続された信号線が収納されていることを特徴とする請求項4記載のカテーテルRFアンテナ。

【請求項6】

前記カテーテルは、長手方向に沿って複数の空洞を有するチューブからなり、前記複数

のアンテナ及びそれに接続された信号線はそれぞれ前記複数の空洞のうち異なる空洞に収納されていることを特徴とする請求項4記載のカテーテルRFアンテナ。

【請求項7】

前記複数のアンテナ間の電気的相互結合を除去するためのデカップリング手段を備えたことを特徴とする請求項1ないし6いずれか1項記載のカテーテルRFアンテナ。

【請求項8】

前記デカップリング手段がインダクティグカップラー法に基く回路であることを特徴とする請求項7記載のカテーテルRFアンテナ。

【請求項9】

前記デカップリング手段が低インピーダンス法に基く回路であることを特徴とする請求項7記載のカテーテルRFアンテナ。

【請求項10】

前記複数のアンテナは、ダイポールアンテナであることを特徴とする請求項1ないし9いずれか1項記載のカテーテルRFアンテナ。